

募集班長の模型部屋(第26回)

皆さんこんにちは。最近このコーナーの更新ができないのは仕事が忙しいから・・・といっても、夜にはアパートに帰るわけで・・・

誰もいない寂しい部屋で、ほぼ毎日、少しずつですが黙々と作ってます。娘達と長電話しながら作りますが、「お父さん、今プラモ作っているでしょう!」「何で分かった?」「接着剤のガラス瓶の音がしたから。」もう、娘達に隠し事が出来ません。

さて、そんなこんなで出来上がった戦車の中から今回は・・・

3式中戦車です。



大戦末期に作られた戦車で、本土決戦用として国内部隊に配備されたので実践投入はありませんでした。キットはファインモールドさんの物で、特にディテールアップはしてません。

モデルカステンの連結式履帯のほかはストレート組です。本土上陸してくる連合軍相手に決死の戦いを挑む様子をイメージして作りました。車体は従来の97式のベースですが、砲塔だけ見ると強そうに見えます。こんなに直線的な側面だと乗り降りするのに足をかける事が出来ないから大変だったろうと思います。また、操縦手も砲塔から乗り降りしなければならないのですから面倒だったと思います。



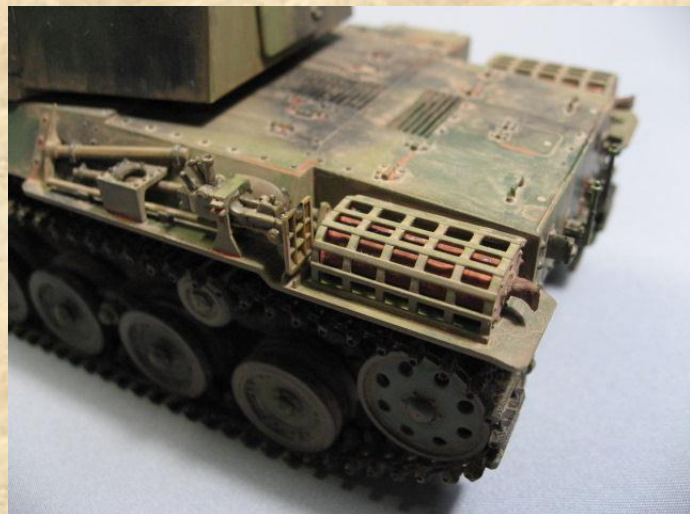
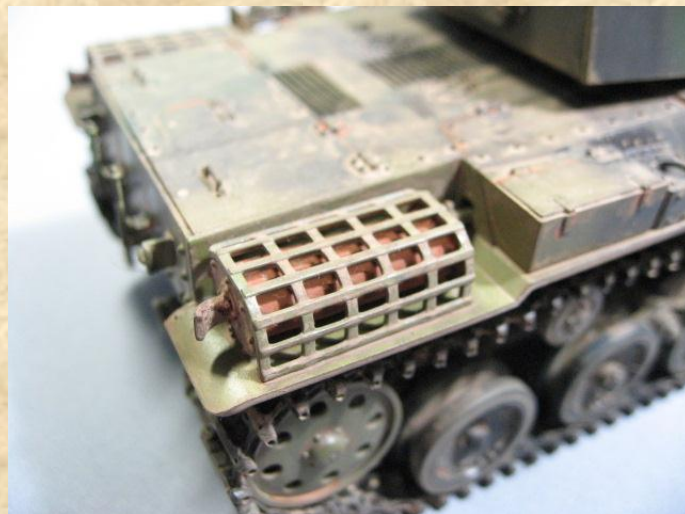
キット自体はすんなりと組めるのですが、モデルカステンの履帯が一番苦労しました。履帯の組み立てはほぼ苦行に近いですよ。でも、完成したときのリアル感がグッと上がります。車体色はGS | クレオスの日本戦車色セットを使用しました。調合しなくて良いのが便利です。最近の旧軍戦車はいつもこれを使用しています。



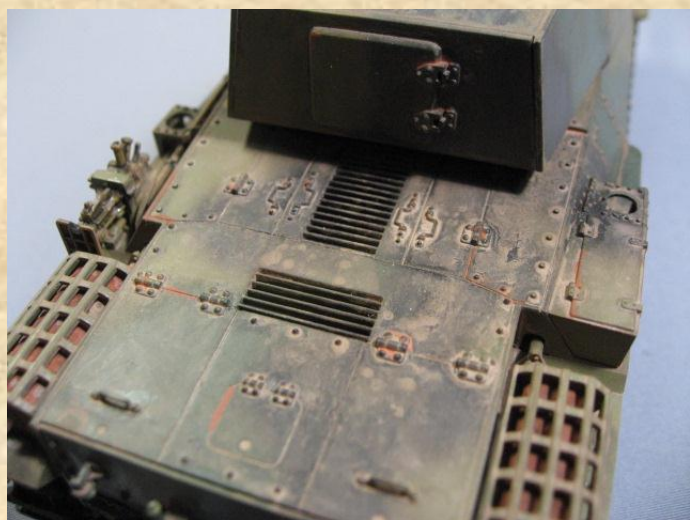
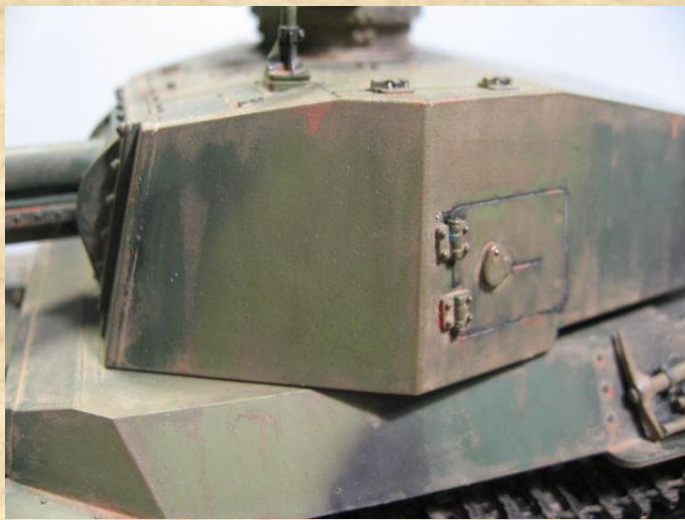
砲口や機関銃基部には、砲弾のスス汚れのほか、砲弾の弾体部にある銅リングの破片による緑錆をパステルコンテで表現しました。



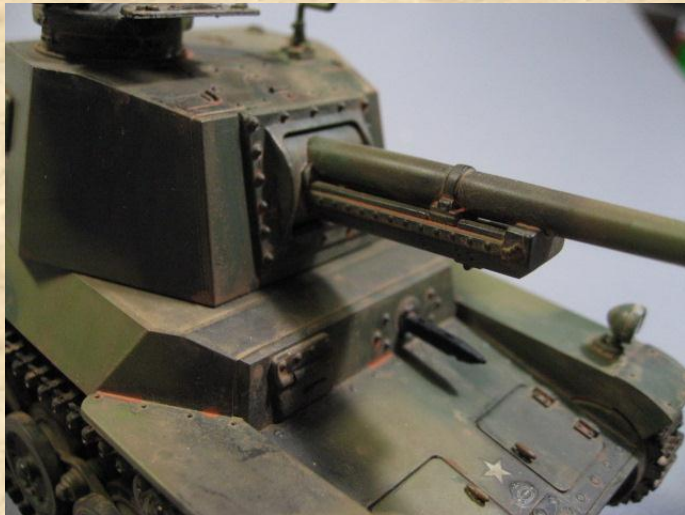
戦車兵フィギュアはミニアート社の日本戦車兵セットを使用しました。日章旗を身体に巻き、決戦に挑む形相の箱絵にほれ込んでこの戦車に乗せることを決めました。日章旗を巻きつけているように見えますか？血の付いた包帯を巻いているようにも見えてしまいます。車長席周りのペリスコープのため、フィギュアが入れづらくて苦労しました。



マフラー部はベビーパウダーとレッドブラウン、パステルコンテを塗った後、カバーを取り付けました。カバー越しの錆付いたマフラーが分かりますかね？



車体表面の埃と泥をウェザリングスティックを塗りつけた後に、濡らした綿棒でこするという作業を繰り返し、風雨により流れ落ちた表現を再現しました。所々茶色パステルで錆を付けました。



砲身の駐退器のレール部分に鉛筆で塗り、ところどころパステルで錆を付けました。車体下部にもウェザリングスティックとピグメントで泥をつけました。乾いてこびりついた表現にしたつもりですが・・・



旧軍戦車を正直見た事がないので、戦車に乗っていた経験から想像で色を塗ったりウェザリングを施してます。どうでしょうかねえ？

さて次回も旧軍戦車を予定しています。また自己満足にお付き合いください。